

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	中間目標年度
北海道登別市	登別市アイヌ施策推進地域計画	令和3年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における中間目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
登別市立図書館を利用した市民の割合 (アイヌの伝統等普及啓発事業)	12.0%	8.38%	69.8%	
市アイヌ関係WEB閲覧数 (アイヌの伝統等普及啓発事業)	4,000 アクセス/ 年間	95,296 アクセス/ 年間	2,382.4%	
登別市観光客入込数 (アイヌ文化のブランド化推進事業) (アイヌ文化関連の観光プロモーション事業) (（仮称）登別市情報発信拠点施設整備事業)	4,000 千人/年間	1,200 千人/年間	30.0%	
外国人観光客宿泊延べ数 (NZ・サイパン等との交流事業) (鉄南ふれあいセンター(幌別生活館)改修・交流事業)	600 千人/年間	0.29 千人/年間	0.48%	

アイヌ施策推進地域計画における中間目標	達成状況	備考
登別市立図書館を利用した市民の割合 (アイヌの伝統等普及啓発事業)	令和元年度は目標値10.0%に対し実績値10.29%で目標達成しているが、令和2年度及び令和3年度は目標値を下回り遅延となっている。	
市アイヌ関係WEB閲覧数 (アイヌの伝統等普及啓発事業)	令和2年度及び令和3年度は目標値を大きく上回り達成している。	

<p>登別市観光客入込数  (アイヌ文化のブランド化推進事業)  (アイヌ文化関連の観光プロモーション事業)  ((仮称)登別市情報発信拠点施設整備事業)</p>	<p>令和2年度は目標値を大きく下回り遅延となっている。令和3年度は実績値が確定していないが、令和2年度から上昇する見込である。</p>	
<p>外国人観光客宿泊延べ数  (NZ・サイパン等との交流事業)  (鉄南ふれあいセンター(幌別生活館)改修・交流事業)</p>	<p>令和2年度は目標値を大きく下回り遅延となっている。令和3年度は実績値が確定していないが、令和2年度と同程度の見込である。</p>	

<p>(評価・コメント)  「登別市立図書館を利用した市民の割合」「登別市観光客入込数」「外国人観光客宿泊延べ数」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、図書館の休館や温泉宿泊施設などの休業、国内における外出自粛要請、国外からの入国制限などの理由から目標値を大きく下回る結果となった。  「市アイヌ関係WEB閲覧数」については、民族共生象徴空間(ウポポイ)開設もあり、アイヌ文化及びアイヌ伝統等への興味関心をもつ方が増え、目標値を大きく上回る結果となった。</p>
--

2. 中間目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【事業名】文化振興事業(アイヌの伝統等普及啓発事業)</b>  ・市民や観光客のアイヌ文化に対する興味関心を高めるため、市公式ウェブサイトの特設ページを開設(令和元年度)  ・魅力あるアイヌ関連文献資料等を提供するため、絶版図書を含めた文献収集を実施(令和元年度～令和3年度)  ・アイヌ文化を身近な存在として感じてもらうため、アイヌ文様が刺繍されたタペストリーを製作・設置(令和元年度～令和4年度)  ・アイヌ関連資料の劣化及び散逸を防止するため郷土資料デジタル化を実施(令和2年度)  ・アイヌ文化関連施設誘導看板及びアイヌ関連史跡等の説明看板を製作・設置(令和3年度)</p>	<p>市</p>

<p>・アイヌ文化に触れ、学ぶ機会を設けることにより、アイヌ文化に対する理解、関心を深めるためアイヌ文化講座を実施（令和3年度～令和5年度）</p>	
事業の効果	
<p>登別市立図書館には絶版となった貴重書を含むアイヌ関連資料を500点以上購入することができ、資料の充実を図ることができた。</p> <p>市内公共施設や市内小中学校にアイヌ文様が刺繍されたタペストリーを設置することにより、アイヌ文化をより身近な存在として感じてもらうことができるほか、文様の全体的な美しさや一針一針の仕事の細かさなど、伝統技術を近くで見る機会となった。今後は、（仮称）登別市情報発信拠点施設内にも設置する予定である。</p> <p>また、アイヌ文化周遊マップを製作したことで、より多くの市民が本市出身の知里幸恵らの業績や市内に残るアイヌ語地名に触れることができるようになった。</p>	

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【事業名】</b>地域・産業振興事業（アイヌ文化のブランド化推進事業）</p> <p>・アイヌ文様を施した商品開発用デザインを作成の上、市内事業者に提供し、商品開発を促すことにより、アイヌ文化の普及及び市内経済の活性化を図る（令和元年度～令和2年度）</p>	市
事業の効果	
<p>アイヌ文様デザインコースターを作成し、市内対象飲食店で配布したところ好評を得ており、アイヌ文化の普及及び市内経済の活性化が図られた。また、アイヌ文様を施し、登別ブランドをイメージさせるデザインで手さげ袋、マスクケースを製作・配布したことで、アイヌ文化及び登別ブランドの認知度向上に繋がった。</p>	

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【事業名】</b>地域・産業振興事業（アイヌ文化関連の観光プロモーション事業）</p> <p>・登別温泉とウポポイを結ぶ都市間高速バスを運行し、広くアイヌ文化の発信を図るとともに、相互送客の関係を構築（令和元年度～令和5年度）</p> <p>・都市間高速バスの運行に併せ、起終点となる登別温泉地区のバス停留所を整備（令和元年度～令和3年度）</p> <p>・外国人観光客に訴求するアイヌ文化の発信方法を検討（令和元年度）</p> <p>・登別市を訪れる観光客をウポポイへ誘導するため、多言語での</p>	市

<p>案内機能の強化やパンフレットの作成（令和元年度～令和2年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの観光振興とコミュニティ活動支援にも資する公共交通手段の調査研究の実施（令和元年度～令和2年度）</li> <li>・郷土資料館でのアイヌ展示環境の整備及びアイヌ史跡看板整備（令和元年度～令和2年度）</li> </ul>	
<b>事業の効果</b>	
<p>登別温泉とウポポイを結ぶ都市間高速バスについては、ウポポイが開設した令和2年4月から運行を開始し、テレビアニメ「ゴールデンカムイ」のラッピングが多くの人の目を引き、大きな反響があった。また、バス利用者の利便性向上を図るため整備する登別温泉地区のバス停留所については、アイヌ文様を施したバスシェルターの設置工事が完了し、多くの方に利用されることが期待される。</p> <p>市街地から登別温泉・カルルス温泉へ向かう道道沿いや国道36号線の沿線、交通結節点などにウポポイ開設やウポポイへの誘導、アイヌ文化の紹介に関する看板を設置し、ウポポイへの誘客促進を図った。</p> <p>登別市郷土資料館に保管されるアイヌ民族に関する資料を長期保管、展示するために保存処理や、登別市のアイヌ文化の特徴である言語に関係する知里真志保を記念する碑の説明看板を製作・設置した。</p>	

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【事業名】</b> 地域・産業振興事業（(仮称) 登別市情報発信拠点施設整備事業）</p> <p>（仮称）登別市情報発信拠点施設を整備し、アイヌ文化を含む豊かな地域資源情報等は発信するとともに、市民の地域活動及び市民と観光客の交流により、地域の賑わい創出を図る。（令和元年度～令和5年度）</p>	市
<b>事業の効果</b>	
<p>令和元年度は地質調査、基本設計を実施し、令和2年度は実施設計の実施と建設工事等の基礎となる資料作成、令和3年7月から建設工事に着工している。今後、令和5年3月からの供用開始を目指し、引き続き建設工事と建物完成後の備品等の引っ越しなどを進める。</p>	

事業の進捗状況	事業実施主体
<p><b>【事業名】</b> コミュニティ活動支援事業 （NZ・サイパン等との交流事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先住民文化尊重、共生社会づくりの世界的な先進地であるニュ</li> </ul>	市

<p>ーギーランドへ市内中学校及び北海道登別明日中等教育学校の生徒を派遣（令和元年度）</p> <p>（鉄南ふれあいセンター（幌別生活館）改修・交流事業）</p> <p>・登別アイヌ協会やアイヌ関係団体の活動拠点となっている登別市鉄南ふれあいセンターの改修を実施（令和2年度）</p>	
<p>事業の効果</p>	
<p>現地での研修と、派遣前・派遣後研修を通じ、ニュージーランドのマオリ族と日本のアイヌ民族との違いや共生社会づくりの先進事例について学び、アイヌ文化の継承や共生社会づくりのためには、アイヌ民族そのものや文化について知る必要があると派遣者も認識することができた。</p> <p>アイヌ民族の重要な活動拠点の一つである鉄南ふれあいセンターのボイラー更新及びトイレの便器の洋式化をしたことにより、安全・快適に活用できることになった。</p>	

### 3. 今後の方針等

<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、引き続き、アイヌ文化等の普及啓発活動や都市間高速バスの運行による観光プロモーション、令和4年10月完成予定の（仮称）登別市情報発信拠点施設からのアイヌ文化及びその魅力発信などの実施を進めていきます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した登別市観光入込客数の増加に転じるための取組として新たにウポポイと登別市の観光資源をツールに道内外の教育旅行の誘致を図ります。さらに、アイヌ文化の振興並びにアイヌ伝統等の更なる普及・啓発を図るため、アイヌ民族の伝承につながるようなアニメーション映像を制作し、（仮称）登別市情報発信拠点施設に映像を流します。</p> <p>そのほか、新型コロナウイルス感染症の影響で休止としている多文化共生や先住民への理解が深い地域との交流事業（市内小中学校及び登別明日中等教育学校の生徒をサイパンへ派遣）を実施し、共生社会の実現に向けた機運を高める。</p>
--